

## 現場見学会（四国支部）の報告

2018.11.22に地域活動部会四国支部では高知県で施工中の「佐渡鷹取トンネル工事」の現場見学会を実施いたしました。

当トンネルは、やや小規模で、かつ坑外ヤードが狭小ですが、工事環境の改善等を図るため、連続ベルコンによるズリ出し方式に工夫を凝らしながら果敢にチャレンジしている現場です。と、ご案内しましたところ、非常に人気の見学会となり、主催者の一人としてホットしております。連続ベルコンを採用したいとは考えるものの、コスト面などの理由から採用を断念している現場も多いようで、参加各位の高い関心がうかがえました。

工事の概要は次の通りです。

1. 現場名 : 町道佐渡鷹取線 佐渡鷹取トンネル工事
2. 施工者 : 轟・田邊・岩井特定建設工事共同企業体
3. 発注者 : 高知県
4. 工事場所 : 高知県高岡郡梼原町佐渡 ~同町初瀬
5. 佐渡鷹取トンネル概要 :
  - 延長 684m 発破掘削 NATM
  - (地質) 砂岩、泥岩の互層、到達側坑口付近に未固結堆積物
  - (主な特徴) 連続ベルコンによるズリ出し、狭小な坑外ヤードの工夫他
6. 実施日程 11月22日(木) 13:30~16:30

当日は定員20名様でご案内しましたが、最終的に27名の方々にご参加いただきました。事務所にて30分ほどかけて工事説明を受けた後、現場に向かいました。坑口は非常に辺鄙な位置にあるため、30人乗りのマイクロバスを現場のご厚意でチャーターしていただき、ほぼ満席状態で現場に向かいました。坑口ヤードは確かに狭く、橋梁部分と橋梁施工時の仮設桟橋等（補強、一部追加）を最大限有効に利用して作業を進めておられました。すでに連続ベルコンは稼働中でしたが、やはり細かい初期トラブルはあるようで、早期の本格稼働に向けて改善に取り組んでおられました。連続ベルコンの採用は、トンネル工事の改善に向けた福田所長の熱い思いの結果ですが、思いはベルコンだけにとどまつてしまませんでした。伸縮風管をはじめ様々な部分に最先端機器を採用し、また一方では地道な工夫も凝らし、堅実に工事を進めておられていました。参加者全員が深い感動のもと、帰りのバスに乗り込んだ次第です。

見学会終了後、希望者で高知市内にて懇親会を開きました。高知の熱いおもてなしもあり、楽しい会になったことは言うまでもありません。トンネル仲間っていいですね。

地域活動部会 四国支部 支部長  
新日本開発(株) 福家 佳則



JV 事務所にて工事説明



JV 事務所にて工事説明



坑外設備状況



トンネル内の見学の様子